

令和6(2024)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名 電気事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

(1) 収益的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	料金収入	3,156	3,409	3,250	94	・料金収入増の内訳 非FIT分:60百万円増 FIT分:131百万円減 とちぎふるさと電気:41 百万円増 容量市場:124百万円 増
	その他収入	55	47	114	59	
	計	3,211	3,456	3,364	153	
支 出	人件費	495	390	370	▲ 125	・人件費は、職員構成 の若年化等により減
	減価償却費	771	680	609	▲ 162	・減価償却費は、工事 の進捗状況により減
	修繕費	600	398	428	▲ 172	・修繕費は、工事計画 の変更により減
	その他支出	1,147	1,575	1,240	93	
	計	3,013	3,043	2,647	▲ 366	
経 常 損 益		198	413	717	519	

剰 余 金 残 高	1,666		2,038	372	
-----------	-------	--	-------	-----	--

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	借入金	0	165	1,335	1,335	・借入金は、風見発電 所全面改修事業の繰 越しにより増
	その他収入	1	1	17	16	
	計	1	166	1,352	1,351	
支 出	建設改良費	1,461	1,398	2,100	639	・建設改良費は、風見 発電所全面改修事業 等の繰越し等により増 ・借入金償還金は、返 済計画の変更により 減
	借入金償還金	153	57	123	▲ 30	
	その他支出	42	72	69	27	
	計	1,656	1,527	2,292	636	
差 引		▲ 1,655	▲ 1,361	▲ 940	715	

借 入 金 残 高	6,116		4,889	▲ 1,227	
-----------	-------	--	-------	---------	--

経営指標による経営状況

	収益性			安全性		老朽化の状況
	経営資本 営業利益率	営業収支比率	経常収支比率	流動比率	自己資本 構成比率	有形固定資産 減価償却率
	・経営資本でどれだけの営業利益を上げたかで、高いほど良好	・営業活動の能率で、高いほど良好	・経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	・短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	・総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	・償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標
	(単位: %)					
令和2年度決算値	2.38	119.58	118.51	862.68	80.90	62.56
令和3年度決算値	▲ 0.55	95.60	93.67	917.90	79.52	63.46
令和4年度決算値	0.62	105.20	102.66	383.37	74.29	64.41
令和5年度決算値	0.57	105.27	101.21	748.00	72.20	62.96
令和6年度決算値	4.35	132.06	127.10	760.93	69.14	57.99
全国平均(令和5年度決算値)	－	142.98	143.03	655.84	78.03	61.91
説明	大規模改修工事に伴い令和6(2024)年3月から深山発電所は発電停止となったが、風見発電所の全面改修事業終了に伴う発電再開により料金収入が増加したため、営業収支は黒字となり、約7.2億円の経常利益を確保した。事業の収益性を示す経営資本営業利益率、営業収支比率、経常収支比率の3指標は改修前(令和2年度以前)に比べ高い値となり、経営状況は改善した。 また、自己資本構成比率は全国平均を下回っているが、流動比率は全国平均を大幅に上回っているため、経営基盤は安定しているといえる。 有形固定資産減価償却率では償却資産の減価償却が約6割まで進んでいるが、これは日頃の保守点検によって各資産の劣化状況を把握し、更新計画に反映させながら順次更新に取り組んでいるところであり、特に問題はない。					

- ※ 営業収支比率: 単年度営業収支の黒字を示す100%以上が必要
- ※ 経常収支比率: 単年度収支の黒字を示す100%以上が必要
- ※ 流動比率: 短期的に支払うべき債務を支払える現金等がある状況を示す100%以上が必要

電気事業 目標の達成状況

1 財務面に係る評価

目標の達成状況

	【目標】 財務基盤を強化するため、5か年で合計10億円以上の経常利益を確保します。
決算累計値	660百万円
評価	B
評価に係る説明	風見発電所の発電再開により販売電力量が増加したことや費用の削減等により令和6(2024)年度までの累計値は目標を上回っているが、板室発電所の発電機故障に伴う長期停止による収入減の影響で、目標値の9割程度となる見込みであるためB評価とした。

2 事業面に係る評価

(1) 目標の達成状況

	計画業務量(年間供給電力量)	各発電所の事故・故障等停止時間	一般会計への繰出額	
目標値	R6年度 223,000MWh	R6年度 各発電所72時間以内	計画累計値280百万円 5か年で累計	350百万円
実績(累計)値	R6年度 196,473MWh	R6年度 812時間(1発電所)	累計	448百万円
評価	B	B	A	
評価に係る説明	取水ダム周辺の降水量が少なく、目標値を下回ったため(目標比88.1%)、B評価とした。	稼働中11発電所のうち1発電所(板室発電所)で目標を下回ったため、B評価とした。	とちぎふるさと電気の完売継続及び地域振興積立金の拡充(市町が実施する地域脱炭素化事業への支援)により繰出額が増えたため、A評価とした。	

(2) 取組実績等

※下線は新規事項

経営方針	令和6(2024)年度の実績	令和7(2025)年度の実績予定
ハード・ソフト両面の強化	○施設等の計画的な更新や耐震化 ▶<u>足尾発電所水圧鉄管等耐震補強工事(R6～R7)</u> ▶<u>東荒川発電所主要変圧器更新工事(R6～R7)</u> ▶<u>東荒川発電所直流電源装置更新工事(R6～R7)</u> ▶<u>渡良瀬取水堰予備発電装置更新工事(R5～R6)</u> ▶深山発電所取水堰取水ゲート等修繕工事 ▶板室発電所本館等屋根防水補修工事 ○業務継続体制の強化 ▶テレワーク、Web会議の活用 ○実践的な災害対応訓練の実施 ▶ダムを対象とした洪水対応演習(1回) ▶ダム放流危険箇所巡視(2回) ▶地震発生時対応訓練(2回) ▶事故故障発生時の対応訓練(2回) ▶油流出対応訓練(2回) ▶非常時所用内電源確保訓練(3回)	○施設等の計画的な更新や耐震化 ▶足尾発電所水圧鉄管等耐震補強工事(R6～R7) ▶東荒川発電所主要変圧器更新工事(R6～R7) ▶東荒川発電所直流電源装置更新工事(R6～R7) ▶<u>足尾発電所主要変圧器等更新工事(R7～R9)</u> ▶<u>足尾発電所配電盤更新工事(R7～R9)</u> ○業務継続体制の強化 ▶テレワーク、Web会議の活用 ○実践的な災害対応訓練の実施 ▶ダムを対象とした洪水対応演習 ▶ダム放流危険箇所巡視 ▶地震発生時対応訓練 ▶事故故障発生時の対応訓練 ▶油流出対応訓練 ▶非常時所用内電源確保訓練
収益の確保と経費削減による財務基盤の強化	○計画的な設備点検による電力の安定供給 ▶電気工作物保安規程に基づく設備点検、測定試験の実施 ▶<u>東荒川発電所主要機器内部点検修繕等工事</u> ○既設発電所の大規模改修(FIT適用)による収益力向上【深山発電所大規模改修】 ▶各工事において、機器製作、撤去等実施 ○既設発電所の供給電力量増加に向けた更新 ▶<u>板室発電所主要機器更新等工事(R6～R8)</u>	○計画的な設備点検による電力の安定供給 ▶電気工作物保安規程に基づく設備点検、測定試験の実施 ○既設発電所の大規模改修(FIT適用)による収益力向上【深山発電所大規模改修】 ▶令和7年10月の発電再開に向けた着実な工事の実施 ○既設発電所の供給電力量増加に向けた更新 ▶板室発電所主要機器更新等工事(R6～R8) ▶故障中の板室発電所について、応急修繕工事を実施

経営方針	令和6(2024)年度の実績	令和7(2025)年度の実績予定
収益の確保と経費削減による財務基盤の強化 (続き)	○将来の見通しを踏まえた更新 ▶今市発電管理事務所集中監視制御システム導入事業(R6～R9) ○容量市場への対応 ▶容量市場実需給取引に係る容量確保契約金の確保	○将来の見通しを踏まえた更新 ▶今市発電管理事務所集中監視制御システム導入事業(R6～R9) ○容量市場への対応 ▶容量市場実需給取引に係る容量確保契約金の確保
組織力の強化	○人材育成 ▶職位別体系に基づく研修の実施 ▶新任及び新採用職員に対するTLやメンターの指導 ▶外部研修会参加及び資格取得支援 (ダム管理主任技術者研修、クレーン運転士等) ○保安の高度化や業務の効率化 ▶保守管理支援システムの改修 ▶風見発電所内各設備のデータを利用した保守の実施 ○業務に必要な人材の確保 ▶大学(6校)・工業高等学校(9校)訪問 ▶技術職インターンシップの受入れ(9月、10月) ▶学生向け現場見学会(8月)	○人材育成 ▶職位別体系に基づく研修の実施 ▶新任及び新採用職員に対するTLやメンターの指導 ▶外部研修会参加及び資格取得支援 <u>第3種電気主任技術者資格取得へ向けた研修実施</u> ○保安の高度化や業務の効率化 ▶<u>主要発電所の構内Wi-Fi化</u>による保守管理体制の向上 ○業務に必要な人材の確保 ▶<u>社会人対象採用試験の実施</u> ▶大学・工業高等学校訪問による電気職の業務及び採用試験のPR ▶技術職インターンシップの受入れ ▶学生向け現場見学会
事業利益等を活用した地域貢献の拡充	○とちぎふるさと電気による環境保全事業の支援 ▶公共交通バスEV化促進事業外10事業 ▶契約企業向けに充当事業現場見学会を開催 ○地域振興積立金の活用による支援 (1) 県(SDGs関連事業)への支援 ▶全国産業教育フェア事業外4事業 (2) <u>市町が実施する地域脱炭素化事業への支援</u> (<u>県営水力発電収入を活用した地域脱炭素化促進事業</u>) ▶9市町11事業(公共施設再エネ・省エネ設備導入外)	○とちぎふるさと電気による環境保全事業の支援 ▶EV・PHV促進事業外12事業 ※令和7(2025)年度末に電力受給契約終了することから令和8(2026)年度以降も電気の地産地消や地域貢献を推進するため、令和7(2025)年度に公募型プロポーザル方式により、公益性を発揮できる売電先を選定する。 ○地域振興積立金の活用による支援 (1) 県(SDGs関連事業)への支援 ▶空き家対策総合プラットフォーム構築事業外3事業 (2) 市町が実施する地域脱炭素化事業への支援 (<u>県営水力発電収入を活用した地域脱炭素化促進事業</u>) ▶11市町23事業(公共施設再エネ・省エネ設備導入外)

経営方針	令和6(2024)年度の実績	令和7(2025)年度の実績予定
事業利益等を活用した地域貢献の拡充(続き)	○ダムカード・発電所カードの配布及び見学会による水力発電所の観光資源としての活用 ▶ダムカード配布 3,288枚 ▶発電所カード配布 約24,500枚 ▶発電所見学会 10回 ▶風見発電所バーチャル見学用Webサイト公開 (R7年3月末時点アクセス数:2,631 件) ○環境イベントへの参加 ▶足尾植樹イベントへの苗木寄付及びボランティア参加 (4月)	○ダムカード・発電所カードの配布及び見学会による水力発電所の観光資源としての活用 ○環境イベントへの参加
SDGs 達成への貢献 	○水力発電による「クリーンエネルギーの供給」やとちぎふるさと電気の販売を通じた事業者の「温室効果ガス削減」への貢献 ○供給電力量最大化による「脱炭素社会の実現」への貢献 ○洪水被害の防止・軽減を目的とした事前放流に伴う「治水対策」への貢献 ○地域振興積立金の活用による支援 (1) 県(SDGs関連事業)への支援 (2) <u>市町が実施する地域脱炭素化事業への支援</u> (県営水力発電収入を活用した地域脱炭素化促進事業)	○水力発電による「クリーンエネルギーの供給」やとちぎふるさと電気の販売を通じた事業者の「温室効果ガス削減」への貢献 ○供給電力量最大化による「脱炭素社会の実現」への貢献 ○洪水被害の防止・軽減を目的とした事前放流に伴う「治水対策」への貢献 ○地域振興積立金の活用による支援 (1) 県(SDGs関連事業)への支援 (2) 市町が実施する地域脱炭素化事業への支援 (県営水力発電収入を活用した地域脱炭素化促進事業)

3 総合評価

自己評価等						
1 財務面に係る評価 目標の達成状況 ・風見発電所の発電再開により、令和6(2024)年度は約7億円の経常利益を確保したが、板室発電所の発電機故障に伴う長期停止により、目標達成できない見込み。 2 事業面に係る評価 (1)目標の達成状況 ・年間供給電力量は、取水ダム周辺の降水量減により目標値を下回った。 ・一般会計への繰出額は、とちぎふるさと電気の完売継続及び地域振興積立金の拡充(市町が実施する地域脱炭素化事業への支援)により、繰出額が増えたため、目標を達成した。 (2)事業の取組実績等 ・深山発電所大規模改修事業及び東荒川発電所主要機器内部点検修繕等工事などにおいて、計画どおり業務を実施した。 ・令和6(2024)年度から、市町が実施する地域脱炭素化事業への支援を行い、地域貢献の拡充を図った。				評価		
				B		
評価委員会の評価等						
【財務面】 風見発電所の発電再開により、約7億円の経常利益を確保したが、板室発電所の発電機故障に伴う長期停止により、目標をやや下回る見込み。 【事業面】 年間供給電力量、事故等停止時間は目標を達成しなかった一方、一般会計への繰出額は目標を上回った。 【取組実績】 ハード・ソフト両面の強化について、計画どおり業務を実施している。市町が実施する地域脱炭素化事業への支援により、地域貢献の拡充を行った。						評価
						B
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
自己評価	B	B	B	B		
評価委員会の評価	B	B	B	B		

今後の取組課題・改善点等

- ・板室発電所の発電再開に向け修繕工事を実施し、料金収入を確保するとともに、経費節減を行い、財務基盤の強化に取り組む。
- ・発電施設の計画的な更新工事や実践的な災害対応訓練を強化して事故・故障等停止時間を抑制し、電力の安定供給を図る。
- ・技術力向上・資格取得支援の研修による人材育成や発電施設の保安の高度化を推進し、組織力の強化を図る。
- ・持続可能な社会の実現に向けて、電気事業を通じたSDGs達成に貢献する。

○ 収支の状況

(1) 収益的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	料 金 収 入	計 画 額		1,897	1,951	3,202	3,156	3,381
		当初予算額		1,897	1,959	2,010	3,409	
		決 算 額	2,269	1,953	2,052	1,937	3,250	
	そ の 他 収 入	計 画 額		55	55	55	55	55
		当初予算額		55	58	47	47	
		決 算 額	65	51	66	44	114	
支 出	人 件 費	計 画 額		458	419	484	495	495
		当初予算額		458	391	391	390	
		決 算 額	412	399	391	337	370	
	減 価 償 却 費	計 画 額		490	539	698	771	840
		当初予算額		490	490	465	680	
		決 算 額	484	500	493	464	609	
	修 繕 費	計 画 額		282	326	412	600	376
		当初予算額		282	308	621	398	
		決 算 額	190	180	373	375	428	
	そ の 他 支 出	計 画 額		1,064	820	871	1,147	967
		当初予算額		1,064	926	983	1,575	
		決 算 額	883	1,061	806	781	1,240	
経 常 損 益		計 画 額		▲ 342	▲ 98	792	198	758
		当初予算額		▲ 342	▲ 98	▲ 403	413	
		決 算 額	365	▲ 136	55	24	717	
剰 余 金 残 高			1,378	1,242	1,297	1,321	2,038	

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

(単位: 百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	借 入 金	計 画 額		1,943	1,993	750	0	0
		当初予算額		1,943	1,993	700	165	
		決 算 額	131	296	763	1,740	1,335	
	そ の 他 収 入	計 画 額		1	1	1	1	1
		当初予算額		1	9	10	1	
		決 算 額	7	9	1	2	17	
支 出	建 設 改 良 費	計 画 額		2,444	2,205	2,119	1,461	705
		当初予算額		2,444	2,574	2,032	1,398	
		決 算 額	637	603	1,083	1,923	2,100	
	借 入 金 償 還 金	計 画 額		175	109	212	153	118
		当初予算額		175	110	662	57	
		決 算 額	184	175	109	662	123	
	そ の 他 支 出	計 画 額		37	42	42	42	42
		当初予算額		37	42	42	72	
		決 算 額	11	29	37	40	69	
差 引		計 画 額		▲ 712	▲ 362	▲ 1,622	▲ 1,655	▲ 864
		当初予算額		▲ 712	▲ 724	▲ 2,026	▲ 1,361	
		決 算 額	▲ 694	▲ 502	▲ 465	▲ 1,117	▲ 940	
借 入 金 残 高			1,823	1,945	2,599	3,677	4,889	

○ 経営指標による経営状況

(単位: %)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
経営資本営業利益率	決 算 値	2.38	▲ 0.55	0.62	0.57	4.35	
営業収支比率	決 算 値	119.58	95.60	105.20	105.27	132.06	
経常収支比率	決 算 値	118.51	93.67	102.66	101.21	127.10	
流動比率	決 算 値	862.68	917.90	383.37	748.00	760.93	
自己資本構成比率	決 算 値	80.90	79.52	74.29	72.20	69.14	
有形固定資産減価償却率	決 算 値	62.56	63.46	64.41	62.96	57.99	

○ 財務面に係る目標の達成状況

(単位: 百万円)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
5か年で合計10億円以上の 経常利益を確保	計 画 累 計 値		▲ 342	▲ 440	352	550	1,308
	決 算 累 計 値		▲ 136	▲ 81	▲ 57	660	(993)
	評 価		C	C	B	B	

※ 括弧書きは現時点における見込値

○ 事業面に係る目標の達成状況

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
計画業務量 (年間供給電力量)	目 標 値		183,000MWh	186,000MWh	227,000MWh	223,000MWh	245,000MWh
	累 計 値	219,181MWh	182,303MWh	183,052MWh	148,589MWh	196,473MWh	
	評 価		B	B	C	B	
各発電所の事故・ 故障等停止時間	目 標 値		72時間	72時間	72時間	72時間	72時間
	実 績 値	5時間	102時間	527時間	317時間	812時間	
	評 価		B	B	B	B	
一般会計への繰出額 5か年で累計350百万円	計 画 累 計 値		70百万円	140百万円	210百万円	280百万円	350百万円
	実 績 累 計 値	41百万円	79百万円	175百万円	297百万円	448百万円	
	評 価		A	A	A	A	